

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道153号 飯田南バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：長野県飯田市竹佐 至：長野県飯田市北方	延長	4.5km		
事業概要	一般国道153号飯田南バイパスは、長野県飯田市竹佐から長野県飯田市北方に至る延長4.5kmの道路事業である。				
事業の目的、必要性	当事業の整備により、生活交通と通過交通の分離による交通混雑の解消、交通混雑の解消による速度低下を起因とする交通事故の減少、リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化による物流・観光振興に寄与することを目的とする。				
全体事業費	約350億円	計画交通量	約26,500台/日		
事業概要図					

事業採択の前提条件
・費用対便益：便益が費用を上回っている。 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R2.2）、都市計画手続き完了（R4.11）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.4	総費用：254億円 （事業費：224億円 維持管理費：30億円）	総便益：348億円 （走行時間短縮便益：317億円 走行経費減少便益：25億円 交通事故減少便益：6.0億円）	基準年：令和4年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2（交通量 -10%）	B/C=1.5（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.3（事業費 +10%）	B/C=1.5（事業費 -10%）	
	事業期間変動	B/C=1.2（事業期間 +20%）	B/C=1.5（事業期間 -20%）		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	・現道153号から対象区間へ交通が転換することにより、現道153号の混雑が緩和され、旅行速度が向上。 〔中村交差点～飯田IC西交差点の混雑度〕 現況：1.56 ⇒ 整備後：0.54（約7割減少）	
		事故対策	◎	・交通混雑の解消により、速度低下を起因とする交通事故の減少が図られる。 〔山本小学校北交差点～飯田IC西交差点の事故件数〕 現況：10件/年 ⇒ 整備後：2件/年（約8割減少）	
	社会全体への影響	歩行空間	◎	・現道153号の交通量が減少し、安全性が向上。 〔中村交差点～飯田IC西交差点の交通量〕 現況：15,300台/日 ⇒ 整備後：5,300台/日（約7割減少）	
		住民生活	○	・バイパス整備により、生活交通と通過交通の分離が図られる。	
		地域経済	◎	・移動時間の短縮により、リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化を図り、物流、観光振興を支援。 〔リニア長野県駅（仮称）～昼神温泉の所要時間〕 現況：35分 ⇒ 整備後：27分（8分短縮）	
		災害	○	・国道153号のダブルネットワークにより、土石流等の大規模災害発生時のリダンダンシーを確保。	
環境	-	・注目すべき影響はない。			
地域社会	-	・注目すべき影響はない。			
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了（R2.2）、都市計画手続き完了（R4.11） ・飯田南バイパス整備促進期成同盟会（会長：飯田市長）より早期事業化を要望。			

関係する地方公共団体等の意見

【長野県知事】  
「一般国道153号飯田南バイパス」事業の令和5年度予算化について、同意いたします。  
なお、事業の実施にあたりましては、これまでと同様、環境への配慮はもとよりコスト削減を図りつつ、地元住民への状況説明などを行いながら、早期完成に向けて特段のご配慮をお願いいたします。  
当該区間の整備により、広域交通を担う道路として飯田下伊那地域の骨格を形成し、交通の円滑化、沿線住民の安全性の向上を図るとともに、地域の産業・経済等の発展や生活の支援に寄与するなど、大きな整備効果が期待されます。  
県としましては、事業を進める上で必要となる関係者協議への支援、事業促進が図れるよう、沿線の自治体と連携して円滑に事業が推進されるように用地取得のための地元調整などに取り組んでまいります。  
また、工事用道路の確保や工事に必要な盛土材の手配などについて、県事業や関係機関の協力を得ながら調整を図ってまいります。  
さらに、一般国道153号飯田南バイパスなど関連する道路整備や完成後の現道移管について飯田市とともに積極的な協力を行うとともに、移管後の現道区間における安全・安心の確保に努めてまいります。今後、リニア中央新幹線の整備効果を波及させるため、飯田南バイパスとともに一般国道153号飯田北改良の整備を着実に推進してまいります。  
その他、現在整備中の三遠南信自動車道整備事業に関して、地元市町村との協力体制を整え、積極的に支援していく考えです。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

採択の理由

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きならびに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、当該区間の整備により、混雑緩和による交通の円滑化、交通安全の確保、物流・観光振興の支援など、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を、割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

# 新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

## 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>当事業の整備により、生活交通と通過交通の分離による交通混雑の解消、交通混雑の解消による速度低下を起因とする交通事故の減少、リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化による物流・観光振興に寄与することを目的とする。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田市は、山岳に囲まれた急流河川、急傾斜地が多く、豪雨に際して土石流、氾濫等の被害に見舞われる。</li> <li>国道153号現道区間は土砂災害警戒区域に含まれている。</li> </ul>	<p>※飯田市国土強靱化地域計画（R3.9）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害に伴う国及び他の都道府県からの応援を迅速かつ円滑に被災地に受け入れるため、災害に際し地域における幹線道路ネットワークが十分に確保されている必要があります。また、救急救援活動に必要な緊急輸送道路やその代替路、補完路等について、国や県と連携を図り整備を推進する必要があります。</li> <li>基幹的交通の分断の態様によっては、代替機能が不足することが想定され、広域的な支援に支障が出るほか、復旧・復興の遅れが想定されます。住民の生活や経済活動の基盤となる道路ネットワークの整備を進めます。</li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道153号現道は、生活交通と通過交通の混在により、交通容量を超過し、通勤交通等が増える朝・夕を中心に渋滞による速度低下が発生。</li> <li>対象区間の死傷事故率は長野県平均の約2倍であるとともに、十分な歩道幅員がないため、歩行者の安全性に課題。</li> </ul>	<p>※飯田市土地利用基本方針（R3.10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心拠点、地域拠点及び交流拠点並びに広域交通拠点を有機的に連携させるよう道路網や公共交通等の交通体系と、駐車場その他必要な交通施設を整備し、アクセスと結節の強化を図ることで、一体的な都市の形成を図ります。特に広域交通拠点から中心拠点を結ぶアクセスと結節の強化を図るとともに、広域的視点に立って広域交通拠点の利点が十分発揮できるよう国県等の関係機関と連携しながら取り組みます。</li> <li>特に国道153号飯田南道路は、内環状道路の連絡とともに、高規格道路の代替機能を担う重要な路線であり、広域道路ネットワークの一環をなす道路として都市計画道路に位置付けます。</li> </ul>
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田市は航空宇宙産業のクラスター形成特区指定企業の集積数が全国2位であり、周辺には豊富な観光資源も存在。</li> <li>リニア中央新幹線の開業により産業振興・観光需要増加が見込まれ、更なる交通の増加が想定されるため、リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化が必要。</li> </ul>	<p>※国土利用計画 第3次飯田市計画（H29.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飯田インターチェンジと丘の上を結ぶ「都市計画道路羽場大瀬木線（主要地方道飯島飯田線）」は、全線開通後は、県西南部方面から中心市街地及びリニア駅までのアクセスに寄与するほか、市道路網構想の「内環状」としての利用発展が見込まれます。</li> <li>また、羽場大瀬木線の南端から山本地区までを結ぶ「飯田南道路」は、市内（中心市街地及びリニア駅等）までのアクセスに寄与することが期待されています。</li> </ul> <p>※飯田市 地域経済活性化プログラム 2021</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空機産業の集積化促進</li> <li>新産業団地の整備と事業活動に資するインフラ等の向上</li> </ul>
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、累積脆弱度の改善により、ネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>また、本事業において、混雑緩和による交通の円滑化、交通安全の確保、物流・観光振興の支援など、有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	飯田市	阿智村	20	0.05 [B]	0.01 [B]	▲2.45	0.06	0.10	○

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画段階評価手続き完了（R2.2）、都市計画手続き完了（R4.11）</li> </ul>